

西 暦 (年代)	おもな出来事	西 暦 (年代)	おもな出来事
1953 (昭和28)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期農業復興5カ年計画樹立。 ・天塩川氾濫大水害発生、災害救助法の適用を受ける。 ・美深警察署設置。 ・美幸線敷設促進期成会結成。 ・美深町社会福祉協議会設立。 	1963 (昭和38)	<ul style="list-style-type: none"> ・道道紋穂内橋竣工、渡船を廃止。 ・清水部落簡易水道施設完成。 ・仁宇布植民軌道廃止。 ・美深町交通安全推進協議会設立「交通安全町」を宣言。 ・美深町第2期総合開発計画樹立。 ・美深町町政調査員制度を設ける。 ・美深町を含む1市3町協同し尿処理組合発足。 ・豊作、産米出荷 3万734俵。
1954 (昭和29)	<ul style="list-style-type: none"> ・美深町都市計画樹立（法適用 昭30.4.4）。 ・台風15号襲来、災害救助法の適用を受ける。 ・清水地区開拓入植開始。 ・有線放送仁宇布地区開通。 	1964 (昭和39)	<ul style="list-style-type: none"> ・辺溪小学校を美深小学校に統合、スクールバス運行。 ・集団赤痢発生。 ・美幸線、美深～仁宇布間開通。 ・仁宇布地区に電気導入される。 ・美深町立第二小学校開校。
1955 (昭和30)	<ul style="list-style-type: none"> ・大水害。 ・中国人俘虜殉難者慰霊祭執行。 ・美深町を含む1市8カ町村名寄地域集約酪農地区の指定を受ける。 ・国勢調査（世帯 2,464 人口 13,876） 	1965 (昭和40)	<ul style="list-style-type: none"> ・楠小学校を恩根内小学校に、厚生中学校を美深中学校に、公德中学校を恩根内中学校に統合。 ・第一回商工祭り開かれる。 ・菊丘、仁宇布スキー場開設。 ・美深町乳牛 2,000頭を突破する。 ・国勢調査（世帯 3,055 人口 13,490）
1956 (昭和31)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域指定。 ・国鉄宗谷本線南美深臨時乗降場設置。 ・新農山村漁村建設地域の指定を受ける。 ・町民憩の日制定、第1回町民運動会並びに芸能大会開く。 ・冷害大凶作水稲収穫皆無。 ・美深小唄美深音頭完成。 ・第1回産業祭実行、各種行事を実施。 	1966 (昭和41)	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川中学校を美深中学校に統合。 ・上水道施設完成、給水開始（給水戸数 1,248戸 5,866人） ・へき地電気導入事業で未点灯農家概ね解消される。 ・豪雪（40年11月～41年4月新積雪合計、仁宇布駅 19.4メートル、美深駅 13.7メートル、美深農業気象観測所 10.8メートル、過去50カ年平均 7.0メートル） ・冷害凶作（救農土木事業実施）。
1957 (昭和32)	<ul style="list-style-type: none"> ・新農村建設事業開始第1次菊丘草地造成共同作業所など実施。 ・町体育指導員制度設ける。 ・第2期農業復興5カ年計画完遂、乳牛 1,000頭突破記念式典挙行。 ・美幸線工事着工式・記念行事実施。 		
1958 (昭和33)	<ul style="list-style-type: none"> ・美深町開基60周年記念式典挙行、各種記念事業実施。 ・高酪校内に郷土博物館を併設。 ・自転車税、荷車税、ミシン税、犬税を4月1日より廃止。 		
1959 (昭和34)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期美深町総合開発計画樹立。町地下資源開発5カ年計画樹立。 ・国民健康保険完全5割給付なる。 ・中村元明、水稲新種「中村白毛」を開発。 		
1960 (昭和35)	<ul style="list-style-type: none"> ・各区に「ひまわり会」を組織、美深町青少年育成協議会結成。 ・美深町体育連盟を結成。 ・へき地農村電気導入事業開始（第1年次玉川、泉地区）。 ・国勢調査（世帯 2,773 人口 14,046） 	1967 (昭和42)	<ul style="list-style-type: none"> ・各区に児童遊園地を整備する。 ・長谷部秀見、第7代町長に就任。 ・富岡遺跡発掘調査実施。 ・大豊作、産米出荷 7万俵を突破する。 ・町内初の交通信号機設置（国道と駅前通りの交点）。
1961 (昭和36)	<ul style="list-style-type: none"> ・町立病院を北海道厚生農業協同組合連合会に経営移管「美深厚生病院」に名称変更。 ・菊丘パイロット事業着手。 	1968 (昭和43)	<ul style="list-style-type: none"> ・美深町旗制定。 ・菊丘浄水場に樹霊碑建立。 ・農協合理化澱粉工場新設操業開始。 ・美深町開基70周年記念式典挙行。 ・産米出荷で本町米作史上最高の9万3,082俵を記録。
1962 (昭和37)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業構造改善事業パイロット地区の指定を受ける（西里）初年度事業を始める。 ・郷土博物館開館。 ・美深文化連盟結成。 ・長雨災害凶作、救農土木工事実施される。 ・美深町役場（西町18番地）新築落成式挙行。 	1969 (昭和44)	<ul style="list-style-type: none"> ・美深電報電話局、ダイヤル式自動電話に切替。 ・天塩川紋穂内地区ショートカット工事完成。 ・美深町山村振興法の指定を受ける。

